

安倍首相

東日本大震災追悼式

式辞

2013年・

(参考資料①)

原発事故のために
いまだ故郷に戻れない方々も数多くおられます

2014年・

(参考資料②)

原発事故のために
いまだ故郷に戻れない方々も数多くおられます

2015年・

(参考資料③)

今なお、**原発事故**のために
住み慣れた土地に戻れない方々をはじめ、
23万人の方が厳しい、
不自由な生活を送られています

2016年・

(参考資料④)

原発事故のために、
住み慣れた土地に戻れない方々も数多くおられます

2017年・

(参考資料⑤)

**原発事故
には触れず**

会見

冒頭発言

「福島では。。」と語っている部分から抜粋

●2013年3月11日

(参考資料⑥)

福島では、復興の第一歩となる避難指示区域の見直しも着実に進んでいます。4月1日までに葛尾村、富岡町、浪江町で新たに区域見直しが行われます。これにより更に約3万人の方々が、ふるさとの御自宅に自由に通うことができるようになります。

●2014年3月10日

(参考資料⑦)

福島では、田村市への避難指示について、来月1日から解除することを本日決定いたしました。いよいよ避難されていた方々の帰還が始まります。これはゴールではありません。ふるさとを取り戻すスタートにすぎません。

●2015年3月10日

(参考資料⑧)

福島では、除染した土の中間貯蔵施設への搬入が、いよいよ今週から始まります。受入れを決断してくださった双葉町、大熊町の皆さんに改めて御礼を申し上げます。皆さんのふるさとを思う気持ちを胸に刻みながら、福島の再生に向けて除染を一層加速し、県内8万8千か所に及ぶ仮置場の一日も早い解消に取り組んでまいります。

●2016年3月10日

(参考資料⑨)

福島では、来年春までに、帰還困難区域を除く避難指示を解除し、一人でも多くの方に故郷へと戻って頂けるよう、中間貯蔵施設の建設と除染を一層加速し、生活インフラの復旧に全力で取り組んでまいります。

●2017年

会見なし

最後に一言

一部で報道されていた、安倍首相が式辞で「語らなかったこと」の話です。もし、私が式辞を考えるならば、毎年まっさらな白紙に一から書き始めることはしないと思います（本当はそうすべきなのかもしれませんが。。。）私なら、過去のものを見ながら「今回、加えて語ること」と「今回、語らないこと」を意識して書き進めていくはずですが。だからこそ、「語らないこと」にも意味があると思うのですが、安倍首相はどうやって式辞を考えたのでしょうか？

参考資料
全て首相官邸HP「総理の演説記者会見など」より

- ① 東日本大震災二周年追悼式 内閣総理大臣式辞
http://www.kantei.go.jp/jp/96_abe/statement/2013/0311sikiji.html
- ② 東日本大震災三周年追悼式 内閣総理大臣式辞
http://www.kantei.go.jp/jp/96_abe/statement/2014/0311sikiji.html
- ③ 「東日本大震災四周年追悼式」における内閣総理大臣式辞
http://www.kantei.go.jp/jp/97_abe/statement/2015/0311sikiji.html
- ④ 「東日本大震災五周年追悼式」における内閣総理大臣式辞
http://www.kantei.go.jp/jp/97_abe/statement/2016/0311sikiji.html
- ⑤ 「東日本大震災六周年追悼式」における内閣総理大臣式辞
http://www.kantei.go.jp/jp/97_abe/statement/2017/0311sikiji.html

- ⑥ 内閣総理大臣東日本大震災二周年記者会見
http://www.kantei.go.jp/jp/96_abe/statement/2013/0311kaiken.html
- ⑦ 安倍内閣総理大臣記者会見
http://www.kantei.go.jp/jp/96_abe/statement/2014/0310kaiken.html
- ⑧ 安倍内閣総理大臣記者会見
http://www.kantei.go.jp/jp/97_abe/statement/2015/0310kaiken.html
- ⑨ 安倍内閣総理大臣記者会見
http://www.kantei.go.jp/jp/97_abe/statement/2016/0310kaiken.html